適切な意思決定支援に関する指針

【基本方針】

当院では、厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」などの内容を踏まえ、人生の最終段階を迎える患者さんご本人及びご家族等に対して、多職種から構成される医療・ケアチームで、適切な説明と話し合いを行い、ご本人の意思決定を基本とした、その本人にとって最もふさわしい医療・ケアを進めるものとします。

なお、生命を短縮させる意図をもつ積極的安楽死は、本指針では対象としません。

【「人生の最終段階」の定義】

- ①がんの末期のように、予後が数日から長くとも2～3ヶ月と予測ができる場合
- ②慢性疾患の急性増悪を繰り返し予後不良になる場合
- ③脳血管疾患の後遺症や老衰など、数か月から数年にかけ死を迎える場合

ただし、どのような状態が人生の最終段階かは、精神科の特性も考慮のうえ、ご本人の状態を踏まえ医療・ケアチームによって判断されるものとします。

【「意思決定支援」の基本的枠組み】

- ①意思決定能力とは、説明の内容をどの程度理解しているか（理解する力）・それを自分のこととして認識しているか（認識する力）・論理的な判断ができるか（論理的に考える力）・その意思を表明できるか（選択を表明できる力）によって構成されるとされています。
- ②医療・ケアチームは、ご本人の上記4つの力の存否を評価するとともに、保たれている力を向上できるよう、ご本人が意思を形成することの支援（意思形成支援）及び意思を表明することの支援（意思表明支援）、意思を実現するための支援（意思実現支援）を行います。
- ③ご本人の示した意思は、それが他者を害する場合や、ご本人にとって見過ごすことのできない重大な影響が生ずる場合でない限り、尊重されます。

【人生の最終段階における医療・ケアの方針決定プロセス】

人生の最終段階における具体的な医療・ケアの方針決定は、以下に示すプロセスにのっとり、患者さんご本人の状態に応じた専門的な医学的検討のうえに行われます。可能な限りご本人の意思決定に基づき、精神的・社会的な援助も含めたその方にとっての最善の医療・ケアを進めていけるよう、ご家族等も含めた話し合いを繰り返し行い、その内容は都度カルテにまとめます。

〈ご本人の意思の確認ができる状態〉

- ①ご本人に医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明を行います。そのうえで、ご本人と医療・ケアチームとの合意形成に向けた十分な話し合いがなされ、ご本人による意思決定を尊重し、多専門職種から構成される医療・ケアチームとして方針の決定が行われます。
- ②時間の経過、心身の状態の変化、医学的評価の変更等に応じてご本人の意思が変化しうるものであり、ご本人が自らの意思を伝えられない状態となる可能性もあるため、ご家族等も含めた話し合いを繰り返し行います。

③ご本人には、特定のご家族等を自らの意思を推定する者として前もって定めていただくよう、願います。

〈ご本人の意思の確認ができない場合〉

- ①ご家族等がご本人の意思を推定できる場合には、その推定意思を尊重し、ご本人にとっての最善の治療方針をとることを基本とします。
- ②ご家族等がご本人の意思を推定できない場合には、ご本人にとって何が最善であるかについてご家族等と十分に話し合い、ご本人にとって最善の治療方針をとることを基本とします。ご本人の時間の経過、心身の状態の変化、医学的評価の変化等に応じて、このプロセスを繰り返し行います。
- ③ご家族等がない場合及びご家族等が判断を医療・ケアチームに委ねる場合には、医療・ケアチームがご本人にとっての最善の治療方針をとることを基本とします。

〈身寄りがない場合〉

ご本人の判断能力の程度や人員、費用などの資力の有無、信頼できる関係者の有無などにより状況が異なります。介護・福祉サービスや行政の関わりなどを利用してご本人の意思を尊重し、厚生労働省の「身寄りがない人の入院及び医療に係る、意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」を参照し支援を進めていきます。

〈多職種及び複数の専門家からなる委員会の設置をする要件〉

- ①医療・ケアチームの中で、心身の状態等により医療・ケア内容の決定が困難な場合
- ②ご本人と医療・ケアチームとの話し合いの中で、妥当で適切な医療・ケア内容についての合意が得られない場合
- ③ご家族等の中で意見がまとまらない場合や、医療・ケアチームとの話し合いの中で、妥当で適切な医療・ケア内容についての合意が得られない場合

上記等が生じ方針の決定が困難となった場合には、複数の専門家からなる話し合いの場（倫理委員会）で、医療・ケアチーム以外の者を加えて、方針などについて検討及び助言を行います。

以上

令和7年4月1日
翠会ヘルスケアグループ
医療法人社団 翠会 八幡厚生病院
院長 三浦 智史

《参考文献》

- 1) 厚生労働省ホームページ：人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン
- 2) 厚生労働省ホームページ：認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定ガイドライン
- 3) 厚生労働省ホームページ：身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン